

## 「JAB RL340:2015 試験における測定の不確かさの評価及び表明に関する指針」に対するコメント及びJAB事務局回答

	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局回答 (凡例 : 採用、 : 修正等、 × : 不採用)
1	澤 孝平	p.1	7	E	表題を見やすい表記とする。	「試験における測定の不確かさの」 の直後で改行する。	
2	澤 孝平	p.2	2	E	文字のフォントを統一する。	「目次」のフォントを明朝にする。	× 既に MS 明朝体
3	澤 孝平	p.2	7	E	章番号を削除する。	参考文献の章番号を削除する。(章番 号をつけるなら他のものと同じフォント にすること。)	
4	澤 孝平	p.2	8	E	表記方法を統一する。	「附属書 I」と「定量」の間に半角のス ペースを挿入する。	
5	澤 孝平	p.2	9・10	E	表記を見やすくする。	行の初めを1字か2字下げる。	
6	澤 孝平	p.2	11	E	表記方法を統一する。	「附属書 II」と「試験」の間に半角のス ペースを挿入する。	
7	澤 孝平	P.3	18	E	表記方法を統一する。	「試験結果のユーザーから、」を「顧客 から」に変更する(読点「、」を削除)。	
8	澤 孝平	p.3	22・ 24・ 28	E	表記方法を統一する。	読点「、」を「,」に変更する(3か所)。	
9	澤 孝平	p.4	2	E	表記方法を統一する。	書き出しを1字下げる。	
10	澤 孝平	p.4	14	E	表記方法を統一する。	ISO/IEC と 17043 の間に半角のス ペースを入れる。	
11	澤 孝平	p.4	15	E	表記方法を統一する。	「1.」をゴシックの太字にする。	
12	澤 孝平	p.4	18・ 22・	E	表記方法を統一する。	節番号をゴシックの太字にする。	

注：コメント区分には、必ず「G(全般に関するコメント)」、「T(技術的コメント)」、「E(編集上のコメント)」又は「Q(質問)」の区分をご記入ください。

	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局回答 (凡例 : 採用、 : 修正等、 × : 不採用)
			28				
13	澤 孝平	p.4	19	E	表記方法を統一する。	「間隔尺度」の書き出しを1字下げる。	
14	澤 孝平	p.4	23	E	表記方法を統一する。	「定性結果」の前を半角詰める。	
15	澤 孝平	p.4	33	E	表記方法を統一する。	「適合性・・・一般要求事項」のフォントを前後のものに合わせる。	
16	澤 孝平	p.4	34		分かりやすい表現にする。	「記述」を「文書」に変更する。	
17	澤 孝平	p.4	35	E	表記方法を統一する。	行を詰める。(この前後の文は備考 1 の内容であり、改行の必要はない。)	
18	澤 孝平	p.5	1	E	表記を分かりやすくする。	「文献 <sup>10)</sup> 」の文献番号「10)」を削除する。文献番号をつけるなら、参考文献リストにも番号を付けること。	
19	澤 孝平	p.5	1	E	表記方法を統一する。	「2.1」と「2.3」のフォントをゴシックの太字にする。	
20	澤 孝平	p.5	5-7	E	文章を分かりやすく変更する。提案の赤字部分が変更部分である。	場合がある。たとえば、GUM 附属書 H.6 (参照尺度での測定:硬さ) において不確かさ評価例が紹介されているロックウェル C スケール硬さは、順序尺度の量である。この硬さは、比例尺度の量である長さをもとに順序尺度の量である硬さを決定しているのでカテゴリ	
21	澤 孝平	p.5	8	E	表記方法を統一する。	読点「、」を「,」に変更する。	
22	澤 孝平	p.5	22	E	表記方法を統一する。	「1。」をゴシックの太字にする。	
23	澤 孝平	p.5	32	E	表記方法を統一する。	行を詰める。	

注：コメント区分には、必ず「G (全般に関するコメント)」、「T (技術的コメント)」、「E (編集上のコメント)」又は「Q (質問)」の区分をご記入ください。

	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局回答 (凡例 : 採用、 : 修正等、 × : 不採用)
24	澤 孝平	p.6	14	E	表記方法を統一する。	「3.1」をゴシックの太字にする。	
25	澤 孝平	p.6	26-27	E	表記方法を統一する。	備考2の前に1行の空白行を入れる。	
26	澤 孝平	p.6	35-36	E	表記方法を統一する。	4.2の前に1行の空白行を入れる。	
27	澤 孝平	p.6	36	E	表記方法を統一する。	読点「、」を「,」に変更する。	
28	澤 孝平	p.7	3-4	E	表記方法を統一する。	4.3の前に1行の空白行を入れる。	
29	澤 孝平	p.7	7-8	E	表記方法を統一する。	4.4の前に1行の空白行を入れる。	
30	澤 孝平	p.7	9	E	表記方法を統一する。	GUMと7.2.3の間及び7.2.3の後の空白は半角にする。	
31	澤 孝平	p.7	9-10	E	表記方法を統一する。	4.5の前に1行の空白行を入れる。	
32	澤 孝平	p.7	14	E	表記方法を統一する。	参考文献の章番号を削除する。(章番号をつけるなら他のものと同じフォントにすること。)	
33	澤 孝平	p.7	19	E	表記方法を統一する。	「適合性評価」と「用語」の間に「 - 」を挿入する。	
34	澤 孝平	p.8	1	E	表記方法を統一する。	「附属書 I」と「定量」の間に半角のスペースを挿入する。	
35	澤 孝平	p.8	2	E	表記方法を統一する。	「適合性・・・一般要求事項」のフォントを前後のものに合わせる。	
36	澤 孝平	p.8	2・3	E	表記を見やすくする。	行の初めを1字か2字下げる。	
37	澤 孝平	p.8	5-36	E	表記方法を統一する。	フォントをイタリックから立体に変更する。	
38	澤 孝平	p.8	5-6	E	引用文を正確に表現する。	5行目と6行目の間に「(略)」を挿入する。	

注：コメント区分には、必ず「G(全般に関するコメント)」、「T(技術的コメント)」、「E(編集上のコメント)」又は「Q(質問)」の区分をご記入ください。

	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント 区分	コメント内容	提案	JAB 事務局回答 (凡例 : 採用、 : 修正等、× : 不採用)
39	澤 孝平	p.8	17-18	E	引用文を正確に表現する。	17行目と18行目の間に「(略)」を挿入する。	
40	澤 孝平	p.8	21	E	引用文を正確に表現する。	「統計手法は、」の後に「(略)」を挿入する。	
41	澤 孝平	p.8	21-22	E	表記方法を統一する。	B.3の前に1行の空白行を入れる。	
42	澤 孝平	p.9	1	E	表記方法を統一する。	「附属書Ⅱ」と「試験」の間に半角のスペースを挿入する。	
43	澤 孝平	p.9	31-36	E	文章を分かりやすく変更する。提案の赤字部分が変更部分である。	*1) ここでの「数値」は、定量結果(間隔尺度又は比例尺度の量の値)のことであり、定性結果(名義尺度の量)、半定量結果(順序尺度の量の値)のことではない。 *2) 定量試験とは、定量結果を決定するための試験である。 *3) 定量定性試験とは、定量結果を基に定性結果もしくは半定量結果を決定するための試験である。 *4) 定性試験とは、定量結果に基づかず、定性結果もしくは半定量結果を決定するための試験である。	
44	田中顕一	1. 2.1 2.2 2.3 附属書		E/Q	VIM の用語(量の値、順序尺度量、名義的性質)のみで分類した方が、他の引用を用いずより明快に分類、指針が明快になるのでは？	カテゴリー : 「順序尺度量」を除く「量の値」を結果とする試験 カテゴリー : 「順序尺度量」を求める試験	× カテゴリー は順序尺度量を求める試験ではない

注：コメント区分には、必ず「G(全般に関するコメント)」、「T(技術的コメント)」、「E(編集上のコメント)」又は「Q(質問)」の区分をご記入ください。

	コメント 提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメン ト区分	コメント内容	提案	JAB 事務局回答 (凡例 : 採用、 : 修正等、 × : 不採用)
		II			(カテゴリー と は順番 を変え、 もしくは を追加 されても良いのでは?)	カテゴリー : 「量の値」もしく は「名義的性質」を結果とする試 験 カテゴリー : 「名義的性質」を 求める試験等と分類されては、	
45	田中顕一	3.1	28	T	カテゴリー でも「全ての要 因を特定する」のは困難では ISO 17025 5.4.6.1 参照	「全ての要因の特定を試み」	改定案文参照
46	田中顕一	4.1	34	E	「測定の不確かさ」	「測定の不確かさの範囲」	× 測定の不確かさの範囲という用語は正しく ない。
47	田中顕一	4.4	8	Q	試験所では、厳密に、正規性 が確認出来るデータは少な いと思います。推奨されるの は不確かさの報告のみとし ているは、統計学で定義され る信頼区間、信頼水準と誤解 されない様に配慮されてい るのですか?		× ILAC の規定により、拡張不確かさの報告が 求められている。

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」、「E（編集上のコメント）」又は「Q（質問）」の区分をご記入ください。